



R2予算(案)のポイント

福島ロボットテストフィールドや各種拠点が整備されることから、今後はこれらの拠点を通じて、浜通り地域等に新産業や産業の集積を図り、その効果の全県波及を目指して取り組む。令和2年度は、新たに重点分野となった「医療関連」、「航空宇宙」に関する事業を加えたほか、新事業の発掘・育成を一貫して支援する「イノベーション創出プラットフォーム事業」を新たに実施する。

1. あらゆるチャレンジが可能な地域【7,116百万円】

〈企業等の呼び込み〉

- ・地域復興実用化開発等促進事業 5,701百万円
○福島イノベーション・コースト構想産業集積推進事業 61百万円
○福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業 215百万円
○イノベーション創出プラットフォーム事業 新規 399百万円

〈交流人口の拡大〉

- 交流人口拡大基盤整備等事業 51百万円

〈地域の産業基盤・生活環境の整備〉

- 先端技術導入コミュニティ事業 58百万円
○「福島イハ」構想」周辺環境整備交通網形成事業 28百万円

〈情報発信〉

- 戦略的情報発信実証事業 40百万円
○東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業 新規 438百万円

2. 地域の企業が主役【6,449百万円】(内再掲6,316百万円)

〈地元企業の技術力向上と構想への参画拡大、県内他地域との連携強化〉

- 福島イノベーション・コースト構想推進事業 133百万円
・地域復興実用化開発等促進事業 5,701百万円(再掲)
○福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業 215百万円(再掲)
○イノベーション創出プラットフォーム事業 新規 399百万円(再掲)

3. 構想を支える人材育成【1,058百万円】

〈地域における若者教育の充実、構想を支える人材の確保〉

- 福島イノベーション・コースト構想推進事業(人材確保情報発信事業) 新規 25百万円
・テクノアカデミーにおけるイハ人材等育成事業 44百万円
○福島イノベ構想推進産業人材育成・確保事業 26百万円
・未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業 12百万円
・福島イノベーション人材育成実践事業 425百万円
・福島イノベーション人材育成広域連携事業 18百万円

〈地域に根付く教育研究機能の集積〉

- 学術・研究活動支援事業(『復興知』事業) 400百万円

4. 重点分野別事業【8,484百万円】

Table with 2 columns: Category (e.g., 廃炉, ロボット・ドローン, エネルギー環境・リサイクル, 農林水産業, 医療関連, 航空宇宙) and Project Name/Amount.

5. インフラ整備等事業【70,779百万円】

- ・被災地域農業復興総合支援事業 14,572百万円
・再生可能エネルギー復興支援事業 3,841百万円
・アーカイブ拠点施設整備事業 2,011百万円
・復興祈念公園整備事業 876百万円
・ふくしま復興再生道路等の整備 45,674百万円
・拠点へのアクセス道路の整備 1,164百万円
・小名浜港、相馬港の整備 2,618百万円

令和2年度福島イノベ構想関連予算 876億円(31 912億円)うち国庫等※625億円
【参考】 ■インフラ整備等事業を除いた令和2年度構想関連予算 168億円(31 166億円)うち国庫等※159億円

【凡例】 ※国庫等については、基金繰入金と諸収入を含む
○は、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構への補助又は委託を想定している事業(一部委託を含む)